

■さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験の概要について

1 背景

- 平成25年5月より、大宮駅を中心とした半径約3km圏内に、サイクルポート24箇所を設置し、コミュニティサイクル事業を展開。利用状況は年々増加傾向にあるものの、ポート用機器が高価なため、簡易にポートを増やすことが難しい状況である。
- 一方、昨今全国的に複数の民間事業者間で、シェアサイクルを事業として持続可能な形で運営していこうとする取り組みが活発化しており、市内でもコンビニエンスストア等にサイクルポートが設置されている。
- このような状況を踏まえ、市内のシェアサイクルの利用促進やエリア拡大のために、新たに民間事業者と連携して取り組む必要があると考え、さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験を実施するものである。

2 実証実験の概要

(1) 目的

新たな都市の交通システムとしてのシェアサイクルの普及に向けて、民間事業者と連携して実施することの有効性及び課題を検証することを目的とする。

(2) 実施概要

- ・本市全域を対象に、公共用地を活用しシェアサイクルポートを設置。
- ・民間事業者のシェアサイクルポートの密度を高め、利用状況の分析、事業の効果や採算性の検証、本格導入に向けた課題の整理を行う。

表 さいたま市と民間事業者の主な役割

さいたま市	民間事業者
<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルポート用公有財産の確保 ・関係事業者との調整 ・実証実験結果の検証 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクル事業の実施及び運営 ・施設整備、維持管理 ・利用データの提供 等

(3) サイクルポートの設置の考え方

- ・公共用地を活用したサイクルポートの設置に当たっては、学校及び保育園を除く全公共施設を対象とする。具体的な設置箇所については、各施設管理者の意向を踏まえつつ、公共用地内の配置箇所及び台数の選定は民間事業者が検討する。

【市内サイクルポート設置状況】R1年8月末時点
258箇所（左記うち、公共施設35箇所）

(参考)設置済公共施設の一例

市役所、西区役所、中央区役所、緑区役所、見沼区役所、プラザイースト、プラザウエスト、プラザノース、浦和西体育館、市民会館うらわ、上木崎1丁目公園
コミュニティセンターいわつき、美園コミュニティセンター、 等



3 民間事業者の公募

運営基準を満たすシェアサイクル事業を実施できる事業者を最大3者まで選定する公募を実施。

(1) 公募期間

- ・平成30年8月6日(月)から平成30年8月24日(金)

(2) 主な運営基準

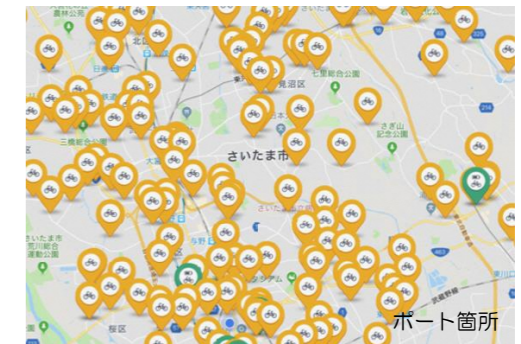
- ・シェアサイクル事業に供する自転車にGPSを搭載し、GPS単独またはビーコンとの併用により位置情報による貸出・返却の制御を行うこと。
- ・サイクルポートとして指定する位置以外での貸出・返却をシステム制御により不可とすること。サイクルポートに指定台数以上の自転車を返却できないようシステム制御すること。
- ・実証実験開始時に、さいたま市内にサイクルポートが10箇所以上設置されていること。又は、平成31年3月31日までに10箇所以上のサイクルポートを設置する計画があり、当該期日までにそれが履行されていること。

(3) 民間事業者の決定

- <公募結果> 2者からの提案有り
- <決定事業者> OpenStreet株式会社

<OpenStreet株式会社の特徴>

- 専用アプリで、市内外のサイクルポートの貸出自転車台数の確認、自転車の貸出予約が可能。また、目的地のサイクルポートの空き状況の確認が可能。
- 利用料金 15分：60円 1日：1,000円 ○貸出自転車はすべて電動アシスト付き自転車



4 今後の予定

- ・実証実験の期間は、2021年3月末までを予定。
- ・今年度に順次ポートを設置し、次年度以降にデータ収集、データ分析及び評価を実施。

実証実験期間（公共用地無償貸付期間：～2021年3月）

2018年度

2019年度

2020年度

- ポート用地の選定
- サイクルラックの設置（順次利用開始）

- 実証実験データ収集及び分析評価
- シェアサイクル移動データの利活用
- さいたま市コミュニティサイクルのあり方